

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

香川県

行事名称	丸亀城天守火災防ぎょ訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和2年1月22日（水）9：00～9：40
実施場所	丸亀市一番丁 丸亀城天守
主催者	丸亀市消防本部、丸亀市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

午前8時55分頃、丸亀城天守の外壁が燃えているのを市職員が発見し、119番通報。自衛消防隊は消火器、屋外消火栓を使用して初期消火を試みる。丸亀市北消防署は現場指揮本部を設置し、自衛消防隊と協力して火災防ぎょ活動を実施する。

訓練の内容

火災の発見者による通報訓練、自衛消防隊による初期消火（消火器、屋外消火栓）、消防による放水訓練を実施

参加者及び役割分担

丸亀市消防本部（9名）全体統括、講評
丸亀市北消防署（16名）放水訓練
丸亀市教育委員会（7名）初期消火、放水訓練、交通整理、119番通報、講評
丸亀市文化観光課（2名）初期消火、放水訓練
丸亀市都市計画課（2名）初期消火、放水訓練、交通整理
天守管理人（1名）初期消火、放水訓練
城内観光案内所（1名）初期消火

特に工夫した点

天守のある本丸には大型車が進入できないという立地条件から、軽四車両にて積載ホースを本丸に運搬の上、連結・延長し、二の丸にある防火水槽を水源に放水訓練を実施した。

問題点・課題

天守にいる時間が最も長いのは天守管理人だが、人数が限られている事もあり、火災の早期発見と応援体制をすばやくとることが重要となる。また、消防隊が到着するまでの初期消火を確実にこなすためには、設備使用方法の十分な把握が必要である。

その他

毎年、文化財防火デーにあわせて消防訓練を行なうことにより、火災予防の重要性と文化財愛護意識の高揚を確認する良い機会となっており、今後も継続して実施する。

訓練風景



消火器による初期消火



放水訓練